ふそう王より情報

2005
冬号

FUSO

GOOD DESIGN AWARD 2005

NEWファイター、その進化した姿に迫る。

輸送を支えるドライバーを想い、
新時代のトラックのあるべき姿を求めて、
NEWファイターシリーズは誕生しました。
インテリア＆エクステリアを一新するなど
ビッグチェンジを図ったファイターシリーズ、
今回は新たな進化の取り組みをご紹介します。

FIGHTER

写真はPA-FK64FK1、撮影用特別仕様車。
ロアヘッドライト外観、シリウスシルバー（メーカーオプション）

進化

ドライバーの好みに合ったトラックが選べる「ベストワンシステム」

BEST ONE SYSTEM
あなたの仕事に最適な1台。

ビジネスやお好みに応じて、キャブタイプやエクステリア、インテリア、乗車定員などを組み合わせベストな一台を選ぶことができます。

CAB TYPE	ショートキャブ / フルキャブ / 標準幅 / 広幅
EXTERIOR	ロアヘッドライト外観 / アッパーヘッドライト外観
INTERIOR	ビジネス内装 / ベーシック内装 / ラグジュアリー内装
CREW	2人乗り / 3人乗り
COLOR	全11色のラインアップ

～Short Cab～

写真はPA-FK71FC1D、撮影用特別仕様車。
アッパーヘッドライト外観、シリウスシルバー（メーカーオプション）

～Full Cab～

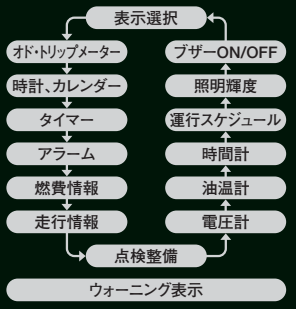
写真はPA-FK64FK1、撮影用特別仕様車。
ロアヘッドライト外観、シリウスシルバー（メーカーオプション）

進化

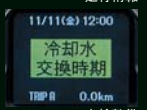
新開発のマルチ情報システム「Ivis（アイヴィス）を全車に標準装備」

運行スケジュールや走行情報、燃費情報などさまざまな車両情報をフルカラー多重表示モニターで分かりやすく入手できます。万一の車両トラブルにも対処方法を表示します。

Ivisオペレーションマップ



走行情報



点検整備

電圧計

車検の中身、あなたはどこまでご存知ですか？

三菱ふそうでは綿密な車検を通じて、貴社の車両をバックアップ。安心・安全な運行をサポートしています。

知っておきたい車検のこと

ステアリング

ハンドル
●操作具合

ギヤ・ボックス
●油漏れ　●取付けの緩み

ロッド及びアーム類
●緩み、がた及び損傷
●ボール・ジョイントのダスト・ブーツの亀裂及び損傷

ナックル
●連結部のがた

かじ取り車輪
●ホイール・アライメント

パワー・ステアリング装置
●ベルトの緩み及び損傷
●油漏れ及び油量　●取付けの緩み

電気装置

点火装置
●点火プラグの状態　●点火時期
●ディストリビュータのキャップの状態

バッテリ
●ターミナル部の接続状態

電気配線
●接続部の緩み及び損傷

動力伝達装置

クラッチ
●ペダルの遊び及び切れたときの床板のすき間
●作用　●液量

トランスミッション及びトランスファ
●油漏れ及び油量

プロペラ・シャフト及びドライブ・シャフト
●連結部の緩み
●自在継手部のダスト・ブーツの亀裂及び損傷
●継手部のがた　●センタ・ベアリングのがた

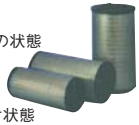
デファレンシャル
●油漏れ及び油量

走行装置

ホイール
●タイヤの状態
●ホイール・ナット及びホイール・ボルトの緩み
●フロント・ホイール・ベアリングのがた
●リム、サイド・リング及びホイール・ディスクの損傷
●リヤ・ホイール・ベアリングのがた

エンジン

本体
●エア・クリーナ・エレメントの状態
●低速及び加速の状態
●排気の状態
●シリンダー・ヘッド及びマニホールド各部の締付状態



潤滑装置
●油漏れ

燃料装置
●燃料漏れ

冷却装置
●ファンベルトの緩み及び損傷　●水漏れ

緩衝装置

リーフ・サスペンション
●スプリングの損傷
●取付部及び連結部の緩み、がた及び損傷

コイル・サスペンション
●スプリングの損傷
●取付部及び連結部の緩み、がた及び損傷

エア・サスペンション
●エア漏れ　●ベローズの損傷
●取付部及び連結部の緩み及び損傷
●レベリング・バルブの機能

ショック・アブソーバ
●油漏れ及び損傷

ブレーキ

ブレーキ・ペダル
●遊び及び踏み込んだときの床板とのすき間
●ブレーキのきき具合

駐車ブレーキ機構
●引きしろ　●ブレーキのきき具合

ホース及びパイプ
●漏れ、損傷及び取付状態

リザーバ・タンク
●液量

マスタ・シリンダ、ホイール・シリンダ及びディスク・キャリパ
●機能、摩耗及び損傷

ブレーキ・チャンバ
●ロッドのストローク　●機能

ブレーキ・バルブ、クイック・レリーズ・バルブ及びリレー・バルブ
●機能

倍力装置
●エア・クリーナの詰まり　●機能

ばい煙、悪臭のあるガス、有害なガス等の発散防止装置

ブローバイ・ガス還元装置
●メターリング・バルブの状態
●配管の損傷

燃料蒸発ガス排出抑止装置
●配管等の損傷　●チェック・バルブの機能
●チャコール・キャニスタの詰まり及び損傷

一酸化炭素等発散防止装置
●触媒反応方式等排出ガス減少装置の取付けの緩み及び損傷
●二次空気供給装置の機能
●排気ガス再循環装置の機能
●減速時排気ガス減少装置の機能
●配管の損傷及び取付状態

ブレーキ・カム
●摩耗

ブレーキ・ドラム及びブレーキ・シュー
●ドラムとライニングとのすき間
●シューの摺動部分及びライニングの摩耗
●ドラムの摩耗及び損傷

バック・プレート
●バック・プレートの状態

ブレーキ・ディスク及びパッド
●ディスクとパッドとのすき間
●パッドの摩耗
●ディスクの摩耗及び損傷

センタ・ブレーキ・ドラム及びライニング
●ドラムの取付けの緩み
●ドラムとライニングとのすき間
●ライニングの摩耗　●ドラムの摩耗及び損傷

二重安全ブレーキ機構
●機能

その他

警告音、窓ふき器、洗浄液噴射装置、デフロスタ及び施錠装置
●作用

エグゾースト・パイプ及びマフラ
●取付けの緩み及び損傷　●マフラの機能

エア・コンプレッサ
●エア・タンクの凝水
●コンプレッサ、プレッシャ・レギュレータ及びアンローダ・バルブの機能

高圧ガスを燃料とする燃料装置等
●導管及び継手部のガス漏れ及び損傷
●ガス容器取付部の緩み及び損傷

車枠及び車体
●非常口の扉の機能　●緩み及び損傷

連結装置
●カプラの機能及び損傷
●キング・ピンの亀裂及び損傷
●ピントル・フック及びルネット・アイの損傷

座席
●座席ベルトの状態

開扉発車防止装置
●機能

その他
●シャシ各部の給油脂状態

※点検内容は車種により異なりますのでメンテナンスノート及び取扱説明書でご確認下さい。

今日からあなたもトライ！

少しの工夫で大きなメリットを生む 省燃費運転 はじめませんか？

運行経費の節減、資源の有効活用をめざし、少しの工夫　で大きな差がつく省燃費運転のコツをご紹介します。
ドライバーのみなさん、さっそくはじめてみませんか？

■ 例えば、ドライバーの努力により、燃費が10%　アップ（3.50km/ℓ→3.85km/ℓ）した場合 ■

一台あたりの年間燃料節約金額が
約35万円という大きな節約になります。
ドライバー一人ひとりが力を合わせることで、
大きな節約効果が見込めます。

一台あたり年間 約 35万円節約

計算例（大型トラック）条件
年間走行距離15万km、軽油購入額90円/ℓ、
節約計数（1-（3.50km÷3.85km/ℓ））＝0.091
150,000km÷3.50km/ℓ×90円/ℓ×0.091＝351,000

節約のために

暖気運転は短めに！

エンジンの始動後3分程度、水温計の
針が動き出したら準備OK。
（寒冷地区の冬場でも5分程度）

停車時はエンジンを止める！

アイドリング中の1時間あたりの燃料消費量
●大型トラック・・・約2ℓ/h　●中型トラック・・・約1ℓ/h
●小型トラック・・・約0.5ℓ/h

空ぶかしは厳禁！

大型トラックでは、空ぶかし1回につき約12ccの燃料を余計に消費。1日20回の空ぶかしをしたとして年間70ℓもの燃料が無駄になります。

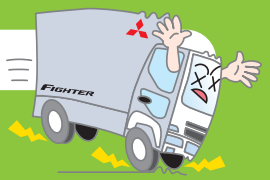
急発進・急加速は止める！

急発進・急停車を多用した場合、
通常の運転に比べ最大20%もの
燃料ロスが出ます。

ちょうどいいエンジン回転で走る！

タコメータのグリーンゾーンで運転した場合は、しない場合に比べ最大20%燃費が良くなります。

急停車も避ける！

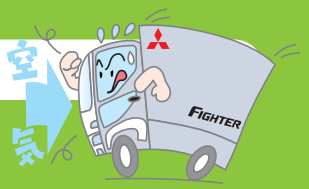


エンジンブレーキなどの補助ブレーキを
上手に活用した運転を心掛けましょう。

ムラのある波状運転は不経済！

わずかプラスマイナス5km/hの速度変化による波状運転でも、約20%もの燃費悪化につながります。

スピードは控えめに！



速度が10km/h変化すると、
燃費も10%変化します。

補助ブレーキの有効活用を！

補助ブレーキを使用しての走行は、エンジンの燃料噴射が抑えられるため、使用しない場合に比べて10%～30%燃費が良くなります。

この装備も、省燃費をサポート！

ドラッグフォイラー

ドラッグフォイラーを装着した車両の場合、空気抵抗が低減され燃費は7%向上することが確認されています。
※新型ファイターを使用した近距離輸送業者の平均的な数値です。

覚えておきたい

ラジアスロッド※ 取扱い上の注意点

※サスペンションを構成する部品です。

（大型トラック・バスのラジアスロッド装着車）

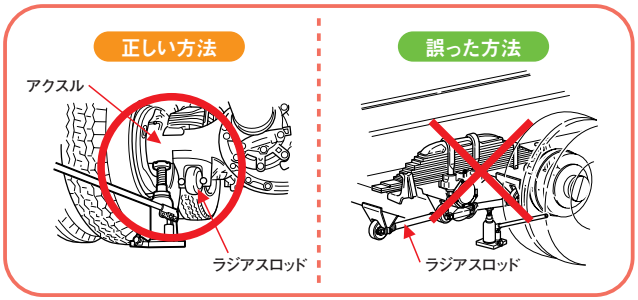
大型トラック等の一部車両のサスペンションには、ラジアスロッドが使用されていますが、ジャッキアップ時に取り扱いを誤ると、知らず知らずのうちに傷をつけてしまうことがありますので充分な注意が必要です。

ジャッキアップ時の注意

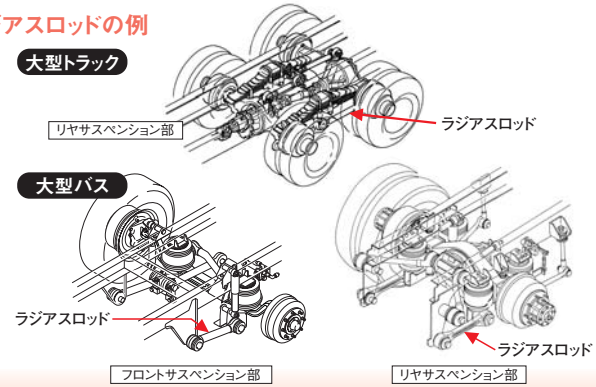
★タイヤ交換などでジャッキアップする場合は、必ず取扱説明書でジャッキアップポイントを確認し、指定箇所以外にはかけないようにしましょう。

特にラジアスロッド部には絶対にジャッキをかけないでください。

★万一、ラジアスロッド部にジャッキをかけたり岩がぶつかる等により損傷を受けた場合は、走行安定性の悪化や折損につながる恐れがあります。



ラジアスロッドの例



ジャッキアップポイントは車種により異なりますので、必ず取扱説明書でご確認ください。

覚えておきたい

錆から車両を守る整備術

車両をいつも安全・快適に使用するには、部品の錆対策も重要なポイントとなります。ここではシャシ足回り部品の防錆力を確保するための予防点検・整備についてまとめてみました。

錆の主な原因

●凍結防止剤　●煤煙、油煙、粉塵、鉄粉、石灰粉などの科学物質
●海塩粒子（海水、波しぶき、潮風）　●樹液、鳥の糞、虫の死骸

防錆のための定期メンテナンス要領

メンテナンス作業	部　位	点検期間
洗車（床下、足回り含む）	・ボデー全体 ・シャシ全体	厳寒期を除き、運行後、毎日実施
錆の発生部はワイヤーブラシ等で除去し、防錆塗装または防錆ワックスを塗布（いずれも水や泥を除去後に実施）	・タイヤスプラッシュを受ける部位 ・水や泥が内部に溜まりやすい部位	トラックは1年ごと、バスは6か月ごと
床下全面に防錆塗装を実施	・シャシ全体	車検時、定期塗装

洗浄方法

●シャシ部品に付着した凍結防止剤、泥、埃等は高圧洗車機で洗浄する。
●特に、フレーム構造部材や足回り部分等、凍結防止剤が溜まりやすい箇所は入念に洗浄する。
●洗浄の水は塩分を含まない水（水道水）を使用する。
●洗浄後、錆のある部分は錆を除去し、洗浄乾燥後に防錆塗装を施す。

※高圧洗車機で洗浄する際は、ハーネス、電気系バルブ、コネクタ等に水が侵入しないようくれぐれも注意しましょう。

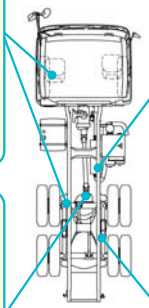
定期的に確認・清掃が必要な箇所の事例

サスペンション周りの堆積物

カバーやプロテクタ内部は泥や石灰などが溜まりやすい

フレーム内部堆積物

石灰や凍結防止剤が付着しやすい



フランジ部、アクスル部の錆

凍結防止剤が直接かかり錆が早く発生しやすい

溶接部、板合わせ部

最も錆が発生しやすい

冬に備えてクル マをしっかり点検!

冬はクルマにとって厳しい季節です。 万全の準備をして冬を迎えましょう。

LLCの濃度をチェック

普段運行している土地の最低気温に見合ったLLCの濃度になっているかを確認しましょう。

冬用のエンジンオイルを

夏用のエンジンオイルは粘度が高いので、そのまま冬まで使うと始動困難や潤滑不良を生じます。必ず冬用を使いましょう。

バッテリは大丈夫?

バッテリ液の量・比重は適当ですか?暖かい地方で働いても寒冷地へ行ったら突然ダメ、ということもあるのでご注意を。

サーモスタットも見よう

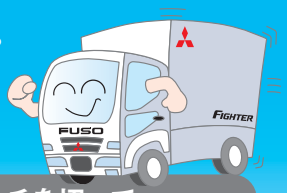
夏に水温が低すぎるクルマは、サーモスタットの作動温度やオートクールファンの作動状況も点検しておきましょう。

雪道のタイヤ

タイヤの山が5〜6分に摩耗したら、スノータイヤとしての性能限度は半減するので危険。古くなったら思い切って交換を。

タイヤチェーンの準備は?

後輪はなるべくダブルのチェーンの装備を。県によっては条例でシングルは認めないところもあります。



いざというときに困らない 冬の運転について

エンジン始動はクラッチを切って

冬の始動はしにくくなるので、少しでも抵抗を減らすために、クラッチを切ってスタータを回しましょう。始動後は静かにクラッチを離しましょう。

長時間の駐車はハンドブレーキを引かない

冬はブレーキ装置が凍結する恐れもあるので駐車ブレーキをかけないでください。

- ギヤシフトレバーはR(後退)に。
- クルマが動かないように輪止めをかけましょう。

アクセルワイヤも凍結するので要注意!

ブレーキは小刻みに

急ブレーキはスリップのもと。軽く小刻みに、なんべんも繰り返し踏んむのが最良の方法です。

ゆっくりと、でも止めないこと

雪道では十分に安全を考えて走りましょう。なるべくクルマを止めないように、車両間隔や徐行区間を見極めて走ることが大事。特に上り坂での停止は、発進が大変なので、止めないように走るのがコツ。

冬のトラック装備品

万が一の時の為に備えておきましょう。

- 非常食
- けん引ロープ
- 毛布
- チェーン
- スコップ
- 長靴

PRESENT

ご応募いただいた方の中から**抽選で100名様**に
三菱ふそう販売会社でオイル交換時や部品交換時などに使用できる

使い道いろいろ

クーポン券1万円分プレゼント!!

車検代 / オイル交換代 / 部品代 / 工賃

全国の三菱ふそうで使用できる

※ご利用はご当選者本人に限らせていただきます。他人への譲渡は出来ません。
※現金とのお引き換え並びにつり銭はご容赦ください。

■応募方法:官製ハガキに『耳より情報クーポン券プレゼント応募』と明記のうえ、お名前、ご住所、郵便番号、電話番号、勤務先、本誌に対するご意見や取り上げてほしい話題などを必ずお書きください。
■締め切り:平成18年1月16日当日消印有効
■応募宛て先:〒104-8172　東京都中央区築地一丁目13番1号　株式会社アサツー ディ・ケイ内
『三菱ふそう 耳より情報』事務局宛

※当選者発表は、クーポン券の発送をもちましてかえさせていただきます。
※ご記入いただいた個人情報は、賞品の抽選・発送以外の目的では利用いたしません。

秋号の「ETC車載器プレゼント」にたくさんのご応募をいただき誠にありがとうございました。厳正な抽選の結果、ご当選されたみなさま、本当におめでとうございます。また、応募に際し貴重なご意見を頂きありがとうございました。

秋号 ETC車載器プレゼントの抽選風景

ひとくちNAVI

座ったときの腰への負担は

立っているときの 約1.5倍!

ドライバーの腰には、思いのほか負担がかかっています。直立のときには体重と同じ負荷が椎間板にかかっていますが、座ると1.4倍に、さらに、20度前屈みになると1.85倍もの負荷がかかり、それが長時間続くのですから腰の負担は大きくなります。

対処法は、畳に厚い布団ならば1枚、薄い布団ならば2枚敷いて、仰向けに寝るのがベストです。仰向けの姿勢だと0.25倍の負荷しかかからず、腰を休めることができます。

腰痛が辛いときは30分程度、板の間に直接仰向けになり、枕は使わずに休みましょう。このときに、両膝を曲げて、足の裏を合わせると、さらに効果があります。

腰痛がひどくなったときは、民間療法などに頼らず、まずは整形外科の診療を受けることをお奨めします。

三菱ふそうトラック・バス株式会社
www.mitsubishi-fuso.com